

年頭のご挨拶

総務部長



1 佐 中村宗一郎
 情報提供をお願いします。

謹んで新年のお祝いを申し上げます。豊友会の皆様には、創立記念行事などご支援いただき、厚く御礼申し上げます。募集環境が厳しさを増すなか、病院職員も「後継者は自ら確保する」との意識で隊員自主募集に取り組んでいます。昨年、一般曹候補生及び自衛官候補生の採用上限年齢が32歳以下に引き上げられましたので、対象者の情報提供をお願いします。

副院長 兼 企画室長



将補 菊池勇一
 引き続きのご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、良き新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年を振り返り、最も印象に残っているのは9月6日に発生した北海道胆振東部地震です。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。北海道全体が停電により混乱し、一時、主要な医療機関が患者の受入れを停止する中、当院は職員の緊急登庁と電源復旧を直ちに行い、多くの救急患者を受け入れることができました。また、厚真町での人命救助においては夜を徹して活動する隊員の衛生支援のため医官、看護官等を現地に派遣しました。日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、「災害に強い病院」を実証できたものと認識しています。本年も皆様のご期待に応えるべく、大鹿病院長の統率方針のとおり、病院機能の向上に努め、いついかなる状況においてもその機能を最大限に発揮できるよう精進してまいります。

衛生資材部長



2 佐 石倉成時
 引き続きご指導とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。豊友会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。衛生資材部は、全課女性課長（キヤッツァイ）の下、院務運営基盤の充実を図ってまいりました。今年度は、「猪突猛進」とならず、周囲との調和を図って「勇往邁進」して院務運営に貢献してまいります。引き続きご指導とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

診療技術部長



1 佐 岩本慎一郎
 安全な技術の提供に努めてまいります。本年もよろしくお祈り申し上げます。

新春のお慶びを申し上げます。昨年は、日々の業務や各種訓練を通じて業務の迅速化に努め、胆振東部地震においてもその機能を十分に発揮できたものと考えています。放射線技術課・研究検査課・栄養課それぞれ、患者さんのお役に立てるよう、安全な技術の提供に努めてまいります。本年もよろしくお祈り申し上げます。

前任診療科部長



1 佐 吉積 司
 引き続き温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。豊友会の皆様には平素より大変お世話になっております。診療科は、今年もチーム医療を推進し、隊員・家族及び地域の皆様に信頼され、質の高い医療を提供できるよう努力していく所存でございます。

准看護学院長



1 佐 相羽寿史
 本年も変わらぬ御指導、御支援の程よろしくお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年は平成から新元号への改元を迎えようとして42期、新元号として初めての卒業生となる43期の学生達が、学院長要望事項の「気力・知力・体力の充実」をはかり、「真に役立つ衛生救護」を指し日々勉学に励んでおります。時代は変われども、人道に基づく愛情、勇気かつ沈着冷静に任務遂行に邁進する衛生科精神は変わりません。学院職員一同情熱をもって教育にあたります。本年も変わらぬ御指導、御支援の程よろしくお願い申し上げます。

看護部長



1 佐 会田知子
 引き続き暖かいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。昨年は防衛医大看護学科の第1期生を病院に迎え、新しい力が加わりました。今年も、看護部は更なる協働態勢を推進し躍進を目指しつつ、良質な看護サービスとの提供と「いついかなる任務にも対応できる看護官」の育成に努めてまいります。引き続き暖かいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最前任上級曹長



曹長 伊藤弘人
 本年も昨年同様みなさまのご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年8月1日に最前任上級曹長に上番してから、病院長の直接的な補佐者として何をやらなければならぬのか日々考え、勤務してきましたが、「上位下達・下位上達」を基本とし、病院長の考えをわかりやすく噛み砕き徹底するとともに、准曹士の意見を具申する役割として、今まで以上に現場に進出し病院職員が勤務しやすい環境づくりに貢献する所存です。本年も昨年同様みなさまのご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

祝ご退官 (H30.8号以降)

池上欽也氏 (11/9 総務課)、松下修氏 (12/9 診療技術部)、川西保幸氏 (12/19 総務課)

第63号
平成31年1月

発行
自衛隊札幌病院
豊友会事務局



「心想事成」
自衛隊札幌病院長
陸将 大鹿 芳郎



新年明けましておめでとうございます。晴れやかな2019年の幕開けをお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、史上初の米朝首脳会談に象徴されるように韓半島の緊張は和らいだかのように見える一方で、中国やロシアの軍事行動の活発化など日本を取り巻く国際情勢は依然として厳しいままであり、また反グローバリズムや自国第一主義などに加え経済や主義主張の対立が各所で先鋭化しているのも不安定要因として影を落としました。国内においては、西日本豪雨や北海道胆振東部地震などの自然災害の猛威が国民生活に影響を及ぼした一方、平昌オリンピックなどの日本人選手の活躍や皇室の慶事、ノーベル生理学・医学賞の受賞など明るい話題もありました。そんな中、陸上自衛隊は陸上総隊や水陸機動団の新編などより強靱な陸上自衛隊の創造へ向けて大きな改編を断行し、また陸自衛生としてもより実効性のある衛生支援態勢の構築に向けて様々な取り組みを行ってまいりました。自衛隊札幌病院も新病院開院から3年が過ぎ、真駒内の地において着実に歴史を重ねてきております。

元プロテニスプレイヤーの杉山愛さんは、プロになってからの大きな目標は、世界ランキングトップ10入りを果たすことでした。実際、プロ1年目にトップ10入りを果たしました。そして著書の中で、「現役生活が終わった今、思うのは、『なぜ初めからナンバー1を目指していかず、継続すれば必ず夢は叶う』ということであり、逆に目標をたてなければ達成することもないということなのだろうと思います。自衛隊札幌病院としても、より高度かつ安心安全な医療・看護を提供できるような技能の向上に努め、また老朽化した医療備品の更新や業務の効率化に努め、北部方面隊の衛生支援態勢の確立や地域医療への貢献など病院として果たすべき役割を確実に実行していきたいと考えております。来年度には、札幌市の要請から災害基幹病院の指定を受け、また現在行っている「災害救急および消化器2次救急輪番に加え精神科救急にも参入する予定にしています。病院機能の向上のため、病院職員全員がそれぞれのやるべきことをやり、着実に実績を積み重ねてまいります。

元将棋連盟会長の谷川浩司九段は「心想事成(しんそうじせい)」という言葉をよく揮毫されるそうです。そして「心に思うことは成る。そのためには平素からどれだけ本気で勝負を打ち込んだか」ということが大切」と述べられています。この谷川九段や杉山愛さんのように達成すべき目標を明確に定めそこに向かって強い気持ちで邁進していく所存であります。皆様の変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。今年も、皆様の健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。



「新年のご挨拶」
自衛隊札幌病院豊友会
会長 古家隆司



あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。明けましておめでとうございます。昨年は、自然災害が多く、北海道もまた大きな地震被害を受けました。北海道中が日本初のブラックアウト状態となり、大混乱に陥った九月六日胆振東部地震。電気がないと現代社会がいかに危ういかわかりました。漆黒の空にはくつきりと星が輝いていました。亡くなられた方々のご冥福と、被災された方々の日常が一日でも早く回復することを心からお祈りいたします。今回の被災において、豊友会の皆様とも連絡が取れず、会員の被災状況は確かめようもありませんでした。豊友会員の被災時における連絡体制の構築と、被災された会員への支援の在り方等を今後の課題として考えていく必要があります。

さて、自衛隊札幌病院におきましては、昨年八月に病院長に就任された大鹿陸将のもと、益々ご発展されることを豊友会としても期待しております。豊友会は、会員の協力のもと、事務局や役員の方々の努力とともに改革が進められてきております。しかしながら、より一層の充実を図るためには、役員の方々の適切な新陳代謝が必要ではないかと思っております。それには、会員の運営への参画意識が必要です。そして、綿密な引き継ぎの下、一度は役員として運営に加わり、信頼関係を深め、順次、新たな空気を入れていける組織であってほしいと思っております。

会長職もまた例外ではなく、何年も同一人物が引き続いていくのは、組織として理想的な姿ではありません。会長として私は六年務めてまいりましたが、病気になるってからは、会長としての役割を十分果たすことができず、本心に申し訳なく思っております。そして、すべての会員の皆様に支えられたということ、今つくづく実感しております。感謝申し上げます。

これまでの会長職は、地元出身の自衛隊札幌病院院長経験者が継承してまいりましたが、今や、防衛医大卒の札幌病院院長や副院長経験者が、この地に残留して会長職に就くのは難しい現状です。それ故、これは重要な問題として会員皆で考えていかねばなりません。

豊友会が、これからも皆様とともにあり続けるためにも、先達の良き伝統を守り、会員の皆様、病院職員の皆様とよく話し合い、ご協力・ご賛同を得たいと存じます。よろしくお祈り申し上げます。

本年も、皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。

《年男と年女 今年の抱負》

総務部 吉田 真
平成26年3月に第二八普通科連隊から豊平の旧札幌へ転属以来、配車陸曹、病院の移転、操縦手、そして昨年八月からは副院長車ドライバーと年男の干支のインシンのように猪突猛進して来ました。猪突猛進して来たが、それによって失敗等の無いよう引き続き柔軟な考え方で対応を心がけ無事故無違反で職務に邁進します。

総務部 千葉 弘幸
今年の抱負は「健康第一」です。自分は今までと変わらないうつもりでも年々低下していく基礎体力や、必ず何らかの項目が異常数値を示す検診などでの体の衰えをひしひしと感じているので、生活環境を見直し百歳まで生きることができるようになりたいと思います。

総務部 山上 文輝
今年の抱負は「一念通天」です。この言葉は、強い信念をもって一心に努力を続けていけば、必ず成し遂げられるという意味です。今年も、この言葉を念頭に置き、日々の業務を精一杯努力していきこうと考えています。

総務部 石黒 啓祐
年男を迎えるにあたり、公私共に引き続き充実した年にするため、会計業務におけるムダを排除して、業務の効率化を図り、合規適切な会計支援を実施して、働きながら病院診療に寄与したいと考えています。また、業務のムダを排除し、自由な時間を確保して、私生活を充実させていきたいと考えています。

看護部 平 政紘
年男の抱負ということで、「つまずかずに」「カネをつかうな」「ドンドンいこうぜ」を挙げたいと思います。単身赴任して子供、子ども二人の面倒を見ている妻に感謝し、質素節約に努め、何にでも気後れせずに取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いします。

看護部 越後 麗
年女。前回抱負を述べてから早十二年。月日の流れの速さを痛感している毎日です。これまで多くの方々に支えられて感謝ばかりです。まだまだ未熟な面はありますが、これからも人のつながりを大切に、そして一日三笑を目標に今年一年も乗り切りたいと思います。

診療技術部 西村 豊
明けましておめでとうございませう。本年で36歳になります。今年も猪突猛進で勤務に邁進したいと思っております。私事ですが、自衛隊札幌病院へ転属してからもうすぐ2年が経とうとしており仕事にも少し慣れてきたところですが、今後は細細時間を利用して体力錬成にも励んでいきたいと思っております。

診療技術部 藤田 道夫
新病院開院からまもなく4年。当初は軌道にのるの不安でしたが、やってみると意外となんとかなってしまっている自分があります。今年も自分がおもい、またそれ以降、目標を失っていない自分であり、自衛隊生活の最終章の始まり。神のご加護が得やすい年であることに信じて、積極的にスキルアップを図ってまいります。

看護部 岡崎 みゆき
二〇一九年は、四月からB〇C入校があり、自衛官である看護士としてのスキルアップの機会があるため、看護士としての基礎を習得します。後輩も来るため、自分の行動に責任を持って責任を持ちます。ご迷惑をおかけすると思っております。よろしくお願いします。

看護部 天本 龍子
昨年から新卒として勤務させて頂き、早くも新たな年を迎えようとしています。年始めには臨床看護士として訓練、四月からはB〇Cに参加させて頂きます。ご指導頂いたことを振り返り、気持ちを新たに日々学習を深め、一歩ずつ前進していきたいと思っております。

看護部 江口 祐樹
あけましておめでとうございませう。今年も猪突猛進ではなく、自衛官・看護士として知識を増やし、広い視野をもち、より強く、より健康に、より賢くをモットーに一段階上レベルアップできるように勇進進進していきたいと思っております。

看護部 横井 美奈
明けましておめでとうございませう。昨年は震災があり、改めて家族の協力があったこと、仕事を続けていられたこと、仕事を家事に育児に追われる毎日、大変だと感じることが多いですが、協力してくれる家族に感謝し、健康に留意し、仕事に邁進したいと思っております。

看護部 福田 雪乃
本年度に新卒として札幌病院で勤務し、先輩のサポートで仕事を覚えていき、覚えることが一杯の毎日でした。来年度はより自律し、安心して仕事を任せられるよう自分自身のスキルアップを図ります。また、後輩も入ってくるので、後輩のことも気にかけていきたいと思っております。

看護部 西川 未来
とうとう二回目の年女！二四歳になります。私の母はずいぶん私を産んでくれるんですね。今年こそ運命の出会いがあるように、ひとことひとつの人達を大切にしていきたいと思っております。また、趣味活動にもはげみ、韓国語にダンスにコンサートに年女を楽しみます！

看護部 館野 七海
昨年は環境が変わり変わる年でした。埼玉から札幌へ、札幌から久留米へ、久留米からまた札幌へ。その中でも多くの人に支えられたグッと成長することができました(体重も)。今年もさらに成長していきたいと思っております。また、先輩方のお見せできるような日々頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

看護部 坂田 詩織
今年も病棟配属2年目になります。後輩が入ってきたり入院したたりイベントも盛りだくさんの予定ですが、まだまだ未熟な面も多々あります。先輩が安心して相談できるような先輩になれるように日々精進していきたいと思っております。また、先輩方の背中を追う日々ですが、さらに頑張りたいと思っております。

看護部 阿部 光義
人生4回目の年男を自衛隊札幌病院で迎えるのを誇りに思います。又、ここまで歩めてきたことは自身の力だけではなく、上司、諸先輩方、そして良き同僚に恵まれ、そして、良き飲み友達と良き同期に出会えたことが人生の糧となっております。世界にひとつだけの花！一歩一歩進んでいきたいと思います。

看護部 渡邊 瑠偉
あけましておめでとうございませう。昨年は幹部候補生学校、隊付教育、病棟勤務とめまぐるしく環境が変化する一年となりました。今年はB〇Cもあり、昨年に引き続き看護士だけでなく自衛官としての学ぶことの多い年になると思っております。日々の時間を大切にがんばりたいと思っております。

看護部 山本 美穂
本州から北海道に四年ぶりに戻りまして約一年経ちます。すっかり忘れてしまっていた北海道の気候にも慣れて参りました。今年も初めての一人暮らしも始めるので、①健康管理に努め(できる限り自己管理)、②趣味の充実(趣味の充実も適度です)、③健康意識を高めたいと思っております。

看護部 藤原 美咲
あけましておめでとうございませう。抱負は猪突猛進ではなく、熟慮断行。病棟で勤務し始めて半年が経ちました。まだ先輩に頼りすぎ、来年度は先輩もできてくるので熟慮断行し、看護士として自分も後輩も成長できるような先輩になれるように日々精進していきたいと思っております。また、先輩方の背中を追う日々ですが、さらに頑張りたいと思っております。

准看護学院 藤原 円香
自衛隊に入隊して5年、たくさんの方々に支えられ、ここまでこれたと思っております。2019年は都道府県知事准看護師試験受験、3曹昇任、部隊配置があります。不安や緊張はありますが、今まで培ってきたものを活かして、新しい知識、技術を身につけ、心身に成長できる1年にしたいと思います。

准看護学院 相馬 聖哉
私は今年で自衛隊に入隊して6年目になります。今年の抱負は、3等陸曹に昇任し、3月には2年間の准看護士に当り、この2年間准看護士で学んだ知識、技術を確実に身につけるため振り返りを行い、配属先の部隊の即戦力になる初級陸曹になること、そして、准看護学院生活残り3ヶ月、大切に過ごしたいと思います。

看護部 杉野 理
明けましておめでとうございませう。今年で看護士4年目に入ります。新卒の頃から先輩方に優しく熱心にご指導頂いており、のびのびと働けることができている。家族や先輩、同期に支えられていることに感謝し、今年も先輩方と一緒に頑張りたいと思っております。

看護部 平田 茜
昨年は病棟での役割が増え、視野を広げることができ、少し成長を感じることができた一年でした。しかし課題も多くあるため改善できるように努力していきたいと思っております。また、今年に入隊を控えており、自衛官としても看護士としても成長できる年であると思っております。日々の業務をしっかりと引き締めて頑張りたいと思っております。

《年男と年女 今年の抱負》

准看護学院 中村 玲生
猪は単純で、突進のみのイメージがあると思いますが、実は神経質で警戒心の強い動物です。亥年の私はそんなことではなく、突進だけを取り柄の人間です。ですが、不正な突進だけではないよう、今年も正々堂々と正面からぶつかって生きていこうと思っております。

准看護学院 森 雄斗
准看護学院での2年間の教育もあっという間に時間が過ぎ、先日3曹に昇任し、3月には准看護学院を卒業します。今後は陸曹として勤務していくことで指示を受ける側から指示をする側になるという自覚を持ち、2019年は柔軟な思考と適応力を更に高めて組織のために働ける陸曹になりたいと思っております。

准看護学院 村上 舞華
自衛隊に入隊して5年目になります。1月1日で3等陸曹へ昇任したため今一度、自覚を持ち、気を引き締めていきたいです。3月には部隊配属されるため准看護師試験合格し、即戦力となるような衛生救護士を目指すため、陸曹になるため、自覚研鑽に努めます。また猪突猛進をモットーに何事にも積極的に取り組んでいきたいです。

准看護学院 菊地 美智佳
自衛隊に入隊して、5年目になります。これから3等陸曹として部隊配置されますが、自分の任務を理解し、知識、技術の向上に努め、信頼される陸曹を目指していきたいです。これから准看護師の都道府県知事試験、卒業試験と控えています。准看護士生活最後は勉強に時間を費やしていきたいです。

准看護学院 佐藤 光
まだまだ未熟で小さなウリ坊ではありますが、自衛隊教育隊入校までに猪突猛進だけでなく右左折、急発進、急停止、お掃除の手間を使い、さらには光の面に恥じることのない43期代表ビビクナイノシシになります。

自衛隊札幌病院の訓練紹介

第42期初級陸曹特技課程「准看護師」総合訓練

自衛隊札幌病院は、平成30年10月15日(月)～19日(金)、准看護学院に入学中の第42期初級陸曹特技課程「准看護師」学生に対し、第一線救護、連隊収容所の開設・運営及び師(旅)回収所への後送業務についての基礎的事項を修得させ、衛生救護陸曹として必要な知識と技術の向上を図ることを目的に、北海道大演習場真駒内射撃地区において総合訓練を実施しました。



18日(木)、病院長、副院長及び最先任上級曹長が視察する中、状況開始と共に戦闘で負傷した隊員の呻き声が響くすききに展開した学生たちは、捜索発見した傷病者をトリアージ後、創傷処置等を施し、次の捜索へ前進、それを追従する担架班は速やかに傷病者を後送、患者集合点までの経路を何度も往復しました。また、はざま台に開設した収容所の学生は、医官指示に基づき、搬送された傷病者の処置や看護にあたり、懸命に苦痛緩和及び不安除去に取り組みました。「救える仲間のため」に奮闘する先輩学生の姿を目の当たりにし、模擬患者として参加した第43期生も、「真に役立つ衛生救護陸曹」を目指すべく気持ちを引き締めっていました。視察した病院長は「復命復唱による医療事故の未然防止。衛生科技術の益々の練成」について訓辞し、最先任上級曹長からは優秀隊員3名(森雄斗、千田弓莉奈、大江一輝)に対する褒賞が行われました。

世界糖尿病デーイベント

期間中、自衛隊札幌病院のエンブレムに世界糖尿病デーのシンボルである「ブルーサークル」を装飾した一階エントランスホールにおいて、DVD上映、教育ポスター掲示及びパンフレット配布などを行い、糖尿病と食生活との関連・合併症などについての啓発活動を実施するとともに、二階外来待合スペースでは受診待ちの患者に対する糖尿病教育を開催しました。また、十三日(火)札幌駐屯地厚生センター及び十六日(金)真駒内駐屯地西厚生センターにおいて「血糖値測定コーナー」を臨時設置し、訪れた隊員等約100名の血糖値を測定し個々の測定値に応じたアドバイスを実施して、糖尿病に対する認識を深めることができました。



札地病山岳班 (札病勤務の思い出)

会員 上田 保 (厚別区)

私は、昭和35年3月旧名称である陸上自衛隊札幌地区病院に奉職した。当時の住所は札幌郡豊平町字平岸747であり病院の周辺は一面のリンゴ園で現在のビル群等は一切無かった。大きな建物と云えば近くでは平岸小学校(現所在地)、平岸消防署(現南平岸会館)、遠くでは丘陵の上で平岸火葬場(現岸プール)で2階建て以上の建物は無かった。ひときは高い建造物では平岸消防署の望楼で署員が周囲を見回しているのが病院から見えた。火葬場の煙突からは午前10時頃から午後3時頃まで煙が出ていたが日によって煙の出る時間に長短が会った。丘陵の手前には定山溪鉄道(現地下鉄線)が走っており、まことにのどかな立地であった。

病院前の官舎は木造平屋の二軒長屋で冬は寒く石炭ストーブを一日中燃やすとともに窓にビニールで目張りし玄関と居間の間には厚いカーテンをしていた。隣家の声も良く聞こえ、部屋も小さかったので子供は押入れで寝せていた。大人の身体は体内から温めると云って隣近所良く集まって酒を飲んでいた。

開設間もない病院だったので環境が整っていたとは云えず敷地整備も皆で良く行った。月曜日の総合朝礼を病院グラウンドで行い、終了後石炭殻や小石を拾いリヤカーで運んだ。縁石には36号線にあったカーバイト工場からカーバイトの廃品をもらい総出訓練日に白く塗った。植樹では現在の札幌駅近くにあった厚別弾薬支処(今は無い)から白樺の若木を米軍払い下げのGMCトラックで砂煙を舞い上げて運び植えた。グラウンド整備後はソフトボールを良く行い外柵越えにファールを隣接リンゴ園に打ち込み落ちリンゴを拾って食べた。故意にリンゴを落としてはいけないがボールや頭に当たって落ちたのは拾って良いとの事であった。

病院勤務員の厚生活動として茶道班、俳句班、詩吟班、スキー班、野球班、そして山岳班等全国各地から集まって来た病院開設要員と現地採用職員等との親和目的での活動が盛んに行われていた。

山岳班での活動では当時自家用車を所有している者など誰一人おらず当時走っていた定山溪鉄道で定山溪方面または札幌駅に行き国鉄普通列車に乗り換え目的山岳地の駅まで行き、そこからバスで登山口まで行くのが常であった。ニセコ周辺に行くには札幌駅夜10時発倶知安行き国鉄普通列車の夜行列車を利用することが多かった。昼食はオニギリがほとんどで営内者分を営外妻帯者が作って持って来ていた。手稲山に行くにも札幌駅からバスに乗り国道5号線手稲バス停から、または札幌駅から国鉄に乗り、手稲駅から徒歩で山頂まで歩いて行った。現在では冬季でもバス、マイカー、ロープウェイを利用できるが、その道を歩いて登って行ったのだから何をしていたのだろうと云う感がある。羊蹄山では登山口から山頂まで急な登りばかりで皆バテバテとなったが帰途京極で冷たい湧水を腹いっぱい飲み、顔を洗ってスッキリした記憶がある。

せっかく北海道に来たのだから一番高い山に行こうと大雪山旭岳に行く事になり汽車とバスを乗り継いで行ったが辛く疲れはしたが大雪山の自然と雄大さに特に九州や四国から来た人達は感激していた。利尻岳にも行ったが稚内までの行程が長いと稚内からの連絡船が波の間に間に沈んで見える程小さく揺れて大変難儀をした。空沼岳から札幌岳への縦走時には風もなく天気も良く、誰だったか忘れたが、結婚前の2人も参加していたので当時流行していた「峠の幌馬車」を携帯ラジオで聞きながら笹を掻き分け歩調軽やかに経線歩いたのを思い出す。

以上昭和30年代の札地病での思い出を山を中心に記したが藻岩山、手稲山、札幌岳等の山容は半世紀以上も経たが変わるはずもないが山へのアプローチ、すなわち当時は汽車と一日数回走るバスの時刻表を調べ、無ければ自分の足で行くのが常であったが現在では何時でも何処へでも自由にマイカーを利用して登山口までいけるが.....

さて、登山書を参考に地図を見て時刻表を調べ登山路の難易を判断し同行者の姿を思い浮かべ懐具合と相談しながら計画を立てる楽しみは.....? ま...それは年寄りの懐古趣味と云われるか。



傘寿御礼の挨拶

会員 山本 哲三 (北区)

寒い日が続いておりますがお変わりありませんか。いつも「豊友会」の事では大変お世話になっております。年2回の定例会にはいつも欠席で申し訳ありません。ところで、先日、傘寿のお祝いにと名前入りの立派な「ボールペン」を頂戴し恐縮しております。札地病勤務時はまだ30歳代でしたが、いつの間にかもう80歳になったのですね。光陰矢の如しとは古来より言われてますが、まさにその通りだと実感しています。シャーペンシルありがとうございました。大切に使用させていただきます。本格的な寒さはこれからのようです。どうかお体ご自愛下さい。

<豊友会事務局便り>

1 事務局長挨拶
新年明けましておめでとうございます。平成最後の新年を迎え豊友会員の皆様もそれぞれ思うことが色々あると思われま。昨年は大災害の年で皆様も大変な経験をされたことと思います。如何に日頃の備えが大事かまた生活の見直し及び災害グッズを買いそろえた方も多かったと推察いたします。豊友会もいろいろな事態に対応できるような組織として機能できるものにするため、役員及び事務局員の体制を考えなければなりません、事務局員も人員を増強し誰かが欠けた時次の人がカバー出来るようにまた後輩にスムーズに引き継いで行ける体制作りを確立させたいと考えます。2019年が益々素晴らしい年となるとともに、御家族を含め会員皆様のご健勝で過ごされることを祈念申し上げます。今後ともご指導・御協力お願いいたします。

- 2 平成30年度後期役員会等
(1) 事務局会議
ア 毎月1回、第2木曜日1900から事務局(自衛隊札幌病院)において、各種調整・会誌の準備・発送、役員会の準備、新年会・総会の調整・準備等の実施
イ 新年会の開催の検討
新年会の場所・内容の審議:
平成31年1月12日(土)1800~
ホテルライフオート札幌に決定
(2) 顧問・役員会議の実施
平成30年10月14日(土)1300~
顧問・会長・副会長・事務局長・事務局員の6名により、創成スクエアにおいて顧問・役員会議を開催しました。
ア 会長交代及び後任者の審議
イ 副会長選出の検討、次期会長のための副会長の選出等の審議



3 新入会員等の状況
平成30年8月号掲載以降の入会者は近藤伸彦様(医官)、松下修様(放射線)2名
4 慶弔
(1) 慶事
平成30年秋叙勲: 瑞宝双光章; 寺尾雅彦様、瑞宝単光章; 大久保敬子様、藤山都様
(2) 弔事
平成30年1月20日宮岸武弘様が逝去されており、数ヶ月後報告を受けてから会則に基づき香典の送付を実施し弔意を表しました。平成30年1月27日阿部信一様逝去されました。ご会葬に参加し香典の献上を実施、(御両名のご冥福をお祈りいたします。合掌)

5 豊友会誌投稿記事の依頼について
豊友会誌に掲載する記事について苦慮しております。広く会員から募集しておりますが中々記事の投稿が御座いません。仲間とこんな楽しいことをしています。今こんな趣味をしています。病院の思い出等々写真付きで出していただければ、会員からのお便りとしてどんどん掲載し、紙面をもっと軽やかに面白くまた皆様の情報発信誌としたいと考えておりますので気軽に投稿して頂くようお願いいたします。

☆ 投稿方法: 事務局員・役員及び自衛隊札幌病院の下記メールアドレスへ送信又は郵送で、事務局または自衛隊札幌病院総務課宛でも結構です。よろし
☆ 載の料理クラブのレシピ紹介は今回お休みさせていただきます。次回をお楽しみに!